

建設の機械化

1993.5

No.519



◆巻頭言 土のしめ固め機械に関心を……………	三 谷 健	1
日本建設機械化協会の事業活動……………		3
◆平成5年度官公庁の事業概要(1) 建設省関係予算の概要……………	長谷川 周 夫	20
新浜寺大橋上部工の施工……………	林 秀 侃・山野井 正 行・楠 屋 晴 夫	30

グラビヤ—新浜寺大橋上部工の施工

味噌川ダム施工の概要……………	中 込 武 史	39
「事前混合処理工法」水中埋立プラント船の開発と施工……………	片 野 英 雄	45
ダンプトラックの無人フリート走行システム……………	広 瀬 晋 也	51

グラビヤ—ダンプトラックの無人フリート走行システム

低空間杭打機の開発……………	田 沢 雄 二 郎・嶋 井 森 幸・川 田 正 敏	55
大断面泥水シールドのロボット化への取組み —営団地下鉄7号線本駒込3工区・向丘工区—……………	好 井 宏 太 郎	60
◆ずいそう 21世紀からの研修生……………	山 口 靖 紀	66
◆ずいそう 振幅の大きい大胆な発想と綿密な計画を……………	鈴 木 徳 行	68
◆海外視察団報告 第1回欧州ICカード活用動向視察団報告……………		70
◆部会報告 レンタル業の請求内訳書の標準化、統一について……………	レンタル業部会	78



◆トピックス	29, 79
◆新工法紹介 04-88 資材の自動垂直搬送システム／03-89 自動 床コンクリート均し装置／08-27 鋼製シンカー姿勢計測システム ／08-28 U型水上コンベヤ工法	調査部会 82
◆新機種紹介	調査部会 86
◆整備技術 日本航空成田整備工場見学記	整備部会 91
◆統計	調査部会 96
行事一覧	97
編集後記	(宮地・平田) 100

◇表紙写真説明◇

ブルドーザ D575 A-2

KOMATSU

本機は、「最大の生産性を」、「1回で膨大な土量を掘り起こせるマシンを」、「発破の必要性のないリッピングマシンを」という、世界中の大規模鉱山が待望するこれらの要求すべてを頂点で満たす世界最大のブルドーザである。

最強のリッピング性能、ドーピング性能を誇るのはもちろん、生産性、信頼性、快適性などの向上に多面的に貢献するコマツ独自の軟式足回り機構（REU）を採用し、定評ある品質に支えられてヘビーデューティ

な使用条件下でもその威力を十分に発揮する。

オペレータ空間はゴムマウントの低騒音・低振動キャブによりゆとりある快適な居住性を確保し、ヒューマンファーストを実現した。

＜本機の主な仕様＞

運転整備重量：129.2t（セミUドーザ、可変ジャイアントリッパ、ROPS、キャブ、エアコン付）

エンジン出力：1,065 PS/1,800 rpm

ブレード容量：44.3 m³

最高走行速度：（前進／後進）12.0/13.8 km/hr

全長×全幅（車体）：12 m×4.2 m

ブレード最大上昇量／最大下降量：1.85/0.9 m

リッパ最大掘削深さ／最大上昇量：2.05/1.29 m